
**令和3年度
堺市大道筋社会実験 結果報告書
【概要版】**

自転車通行実験

概要

実施目的	大道筋の将来イメージを見据え、歩道が歩行者中心になるよう現在の道路空間を再編し、自転車関連空間を歩道外に配置することで将来における大道筋の道路空間再編の可能性と課題について検証を行う。
実施内容	第一走行車線のうち歩道寄り2mに自転車専用レーン（北向き一方通行）、第一・第二走行車線にまたがり2.5mにバス停・駐輪場・シェアサイクルポートを配置。
実施日時	令和3年11月12日（金）・13日（土）（10:00～16:00）

【実験区間】



実施結果

実施内容	12日（金）	13日（土）
自転車通行実験通行台数	263台	383台

※自転車通行空間を走行した自転車の台数
 ※※歩道上を押し歩いた自転車数は含まない。

実施内容	利用者	沿道住宅・店舗
アンケート調査・聞き取り調査回答者数	88名	46名

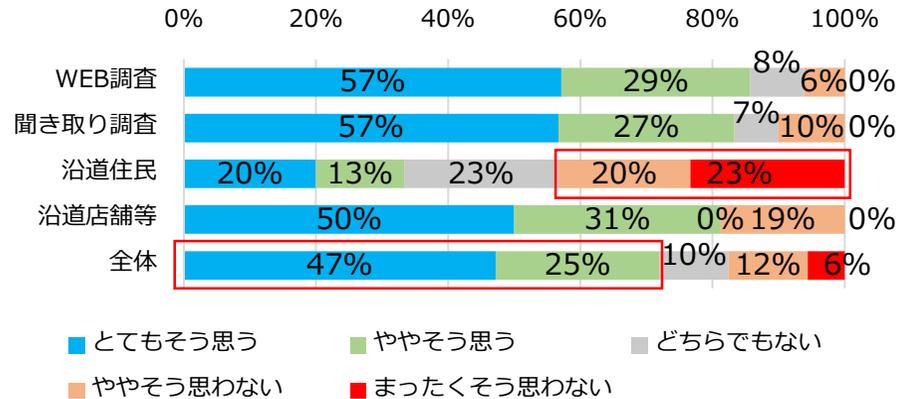
内訳

	web調査		聞き取り調査		合計
	web調査	聞き取り調査	沿道住民	沿道店舗等	
従事者アンケート（市職員）	49名	39名	30名	16名	134名
	37%	29%	22%	12%	100%

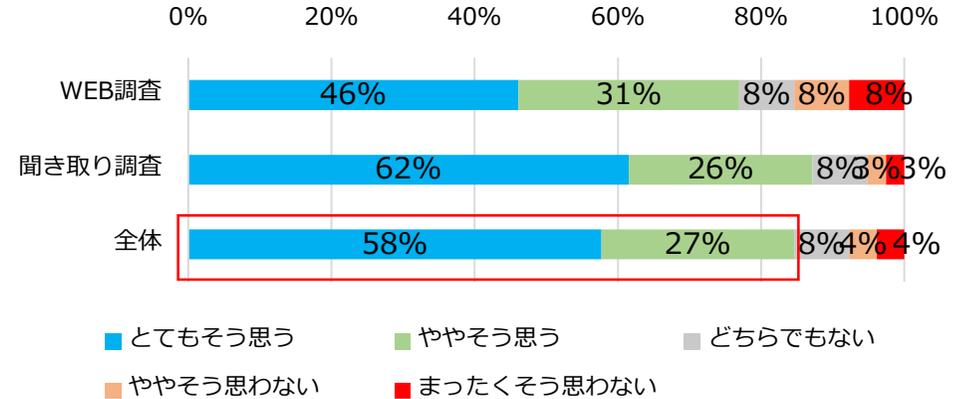
自転車通行実験

意識調査結果（自転車通行環境）

○自転車通行の無い歩道環境は、望ましいことである
と考えますか。



○自転車専用レーンは走行しやすかったですか。
（利用者のみ質問）



- ・「自転車通行のない歩道環境は、望ましいことであると考えますか」については、全体で**72%**が**とてもそう思う・ややそう思う**と**多くの方が望ましいと回答している**。
- ・ただし、沿道住民からは、**ややそう思わない・まったくそう思わない**が**43%**と反対意見も多かった。
- ・「自転車専用レーンは走行しやすかったですか」については、全体でも**85%**が**とてもそう思う・ややそう思う**と、**多くの方が走行しやすかったと回答している**。

道路等利用状況結果

- ・ピーク時間を避けた実験時間だったので渋滞は発生しなかった。（信号待ち車列:最大120m（約20台））
- ・本実験において路線バスへの影響（遅延・事故等）はなかった。事後のバス事業者への聞き取りにおいて、乗降客の待機スペースの確保と安全対策について意見をいただいた。

環濠エリアの周遊・賑わい創造

① 集客効果

➤ 携帯電話の位置情報を利用したデータにより測定

- 対象日時 令和3年11月13日（土）（10:00～16:00）
- 分析項目 来訪者数、男女比、年齢構成別、市内外別
- 抽出条件 滞在時間15分以上
エリア内勤務者・居住者除く

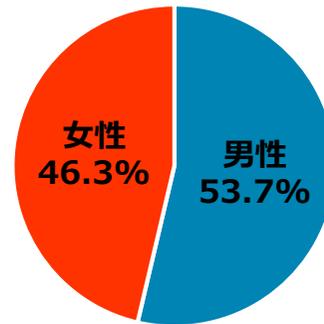
大道筋社会実験周辺エリア



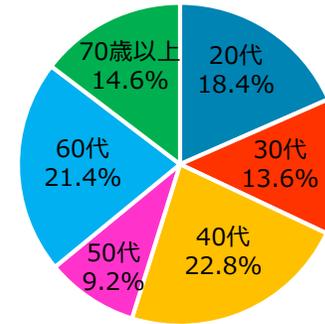
※ ビッグデータ分析対象エリア

来訪者数 ※1 1,856人 ※2

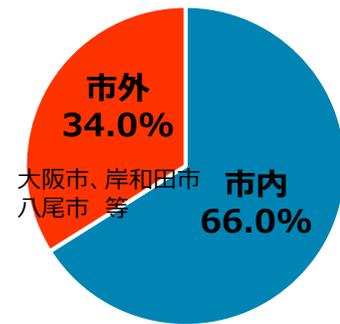
男女比



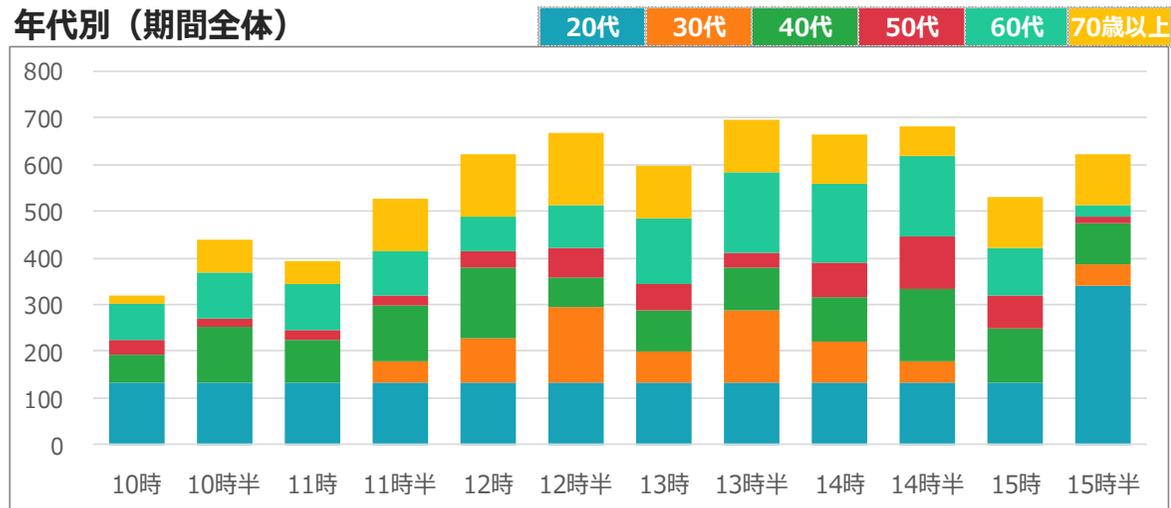
年代別



市内外別



年代別（期間全体）



※1 携帯電話事業者の位置情報ビッグデータに基づく全人口推計（拡大推計）

さかい利晶の杜、堺山之口商店街エリア、ザビエル公園等複数エリアを訪れた方は1名でカウント

※2（参考）来訪者（0分以上）：3,551人

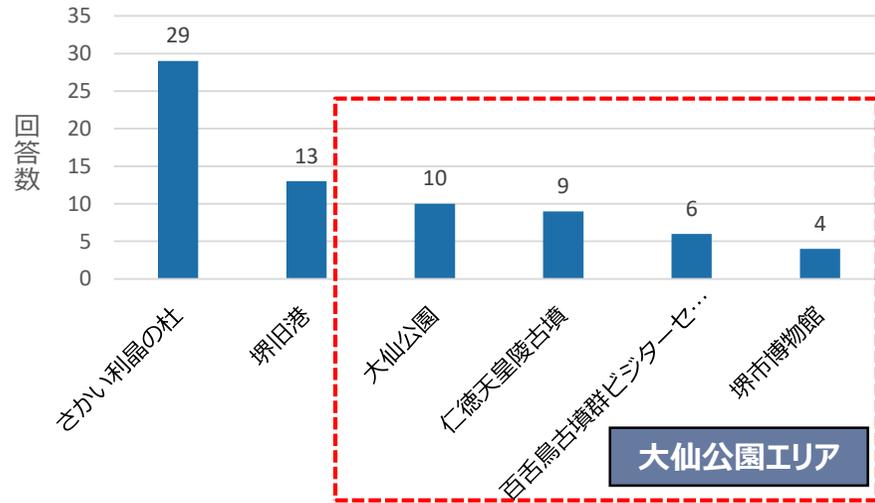
環濠エリアの周遊・賑わい創造

②周遊促進への効果

➤ 各施設への波及効果を入館者数・アンケートにより測定

大道筋社会実験アンケート

本日、堺市内で他に訪問する（した）場所がありますか。（複数回答可）



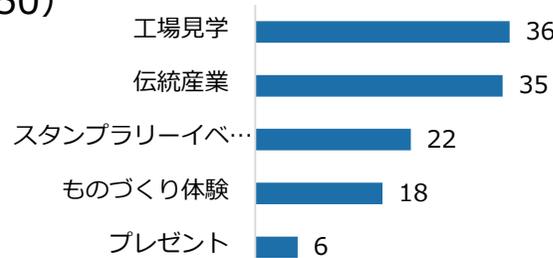
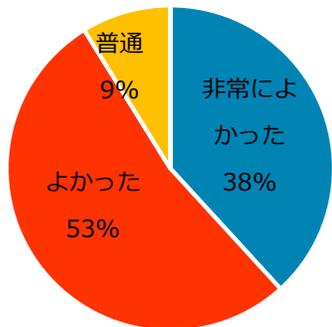
さかい利晶の杜 入館者数 11月13日（土）

1,998人 前週+1315人

- 来場者50人にアンケートを取った結果、近隣でイベントを行っていた「さかい利晶の杜」や、社会実験を実施していた「堺旧港」に訪問する（した）と答えた方が多かった。また、大仙公園エリアを訪問する（した）回答もあった。
- ➡大道筋を中心に一定の周遊促進効果があったと考えられるが、近隣エリアだけにとどまっている傾向がみられる。

オープンファクトリー参加者アンケート

堺オープンファクトリーの満足度について (n=50) 参加の決め手は何ですか。(n=111)



オープンファクトリー参加者数

12日（金） 13日（土）

172人

282人

- 来場者のアンケートでは、「非常によかった」「よかった」を合わせ全体の90%とおおむね満足度が高かった。また、イベントに参加された決め手についてのアンケートでは、「伝統産業」「工場見学」に興味があるという意見が多くを占めた。
- ➡参加者にとっては、満足度の高い企画であったといえる。事業者にとっては、人員・設備等の課題があげられたことから、今後観光コンテンツにするためのさらなる検討が必要である。

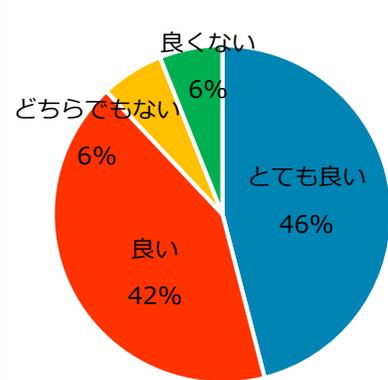
環濠エリアの周遊・賑わい創造

③利用者・事業者満足度

➤ 大道筋社会実験参加者アンケートにより測定

キッチンカー等利用者数
11月13日（土）1,340人

今回の社会実験での空間活用についてどのように思いましたか



コメント

とても良い・良い

- ・街の活性化につながりそう
- ・スペースを十分活かしてできる
- ・自転車と歩行者が別で安心出来る

どちらでもない

- ・なんとなく中途半端な感じがする

良くない

- ・人は多いが案内がわかりにくい

大道筋の印象についてどのように思いますか（現在・将来像）

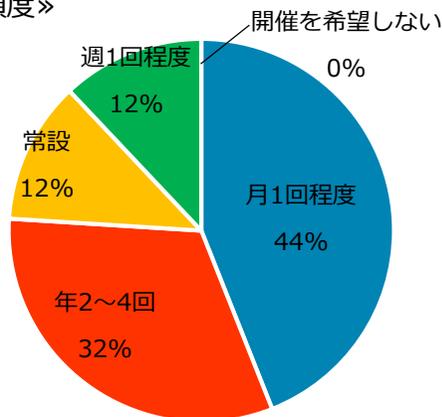
《回答項目》

- 歩きやすい
 街並みに魅力がある
 休憩しやすい
 緑や花があふれている
 賑わいがある
 沿道の店舗に魅力がある
 周遊したくなる ※複数回答可

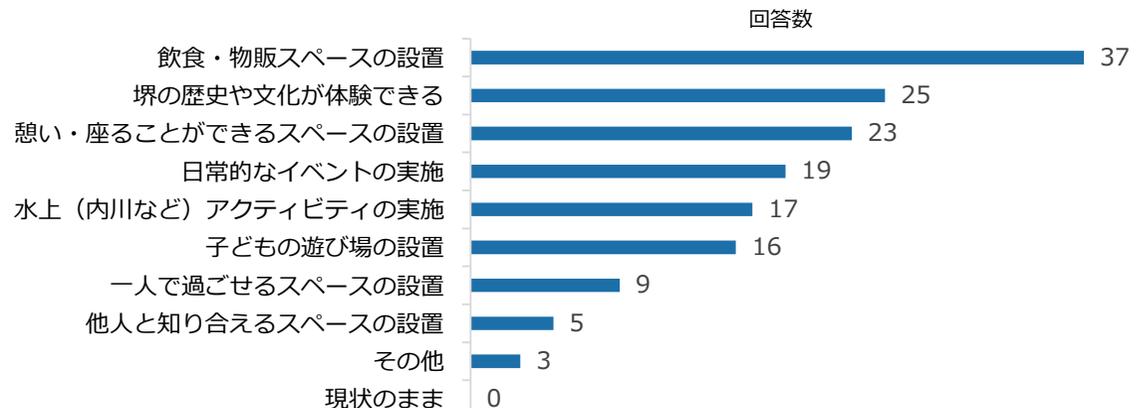
現在（上位5項目）	回答数 (n=50)	期待する将来像（上位5項目）	回答数 (n=50)
歩きやすい	39	沿道の店舗に魅力がある	30
緑や花があふれている	11	賑わいがある	27
街並みに魅力がある	10	歩きやすい	25
沿道の店舗に魅力がある	4	街並みに魅力がある	24
周遊したくなる	3	周遊したくなる	21

大道筋の活用について、今後どのような活用を期待しますか（n=50）

《活用頻度》



《活用方法》



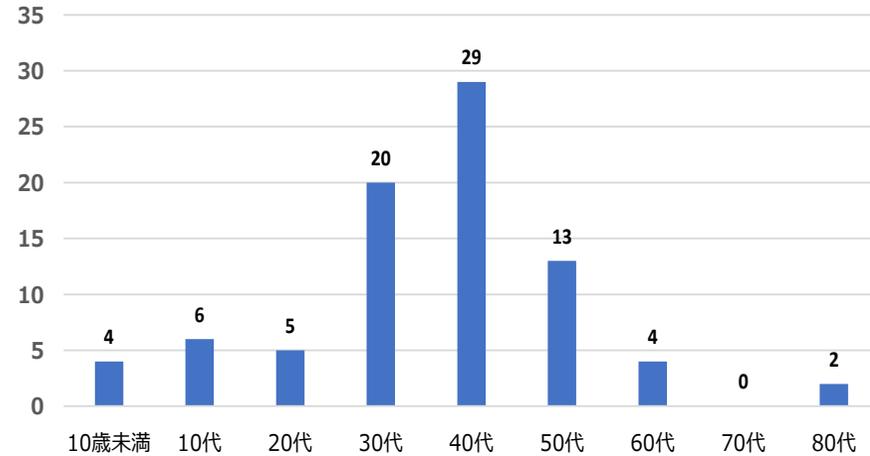
次世代モビリティ乗車体験

概要

- 乗車体験日時 令和3年11月13日（土）（10:00～16:00）
- 体験区間 下図のとおり

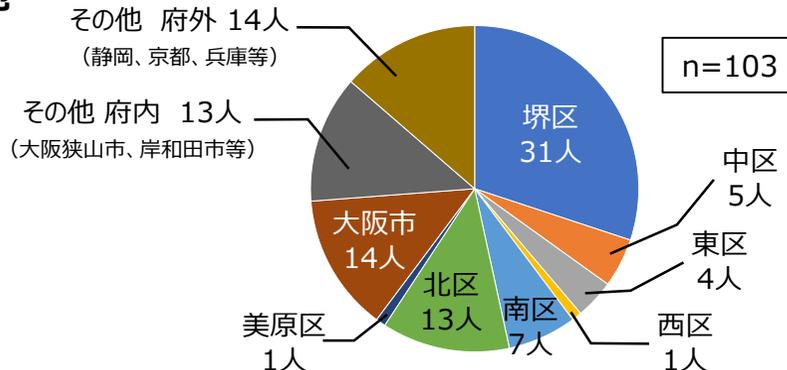


➤ 体験者年代



- 体験者数、件数 体験者数：103人、体験件数：137件

➤ 体験者居住地



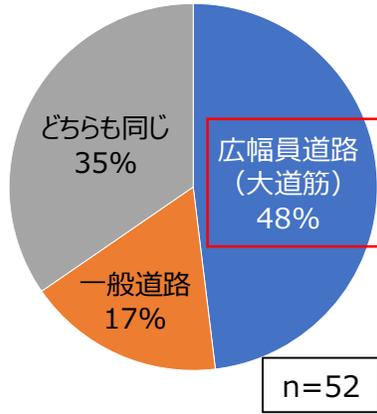
n=83

- 堺市堺区 ■ 堺市中区 ■ 堺市東区 ■ 堺市西区 ■ 堺市南区
- 堺市北区 ■ 堺市美原区 ■ 大阪市 ■ その他府内 ■ その他府外

- アンケート回答数 83人（WEBアンケート、送付数：122人、回答率：68%）

体験後アンケート結果（幅員差による安全性等、利用シーン）

広幅員道路、一般道路どちらが安全と感じたか



- 広幅員（大道筋）のほうが安全
 - ・路上駐車など阻害されるものがないため。
 - ・自動車と分割されているほうが安全。
- 一般道路幅員のほうが安全
 - ・大通りは車がスピードを出しやすいため。
 - ・大道筋は交通量が多く車を近くに感じた。
 - ・トラック等に抜かれにくく、抜かれるとしても大きく離れて抜いてくれるので安心して乗れた。

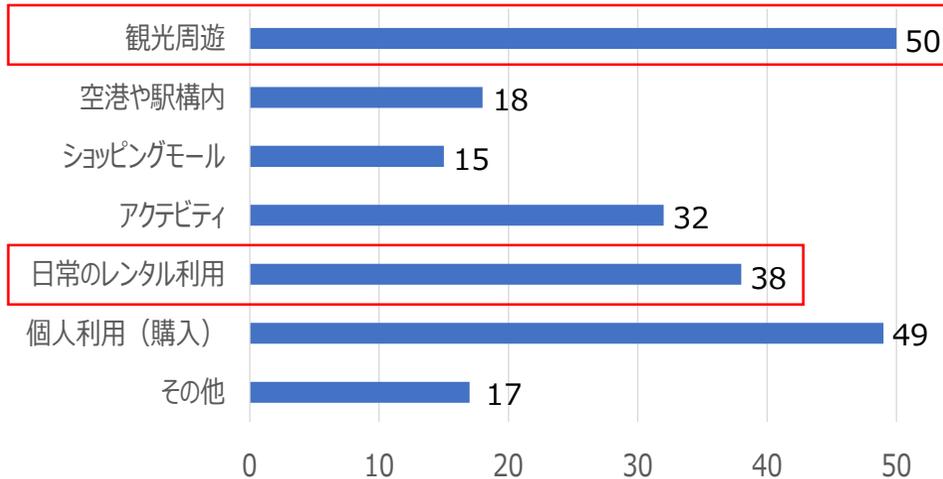
・安全性について、一般道路の路上駐車等による進路阻害がない大道筋区間の評価が高かった。

・一方で、大道筋区間の交通量の多さや自動車がスピードを出して通行することにより、安全性を低く評価する意見もあった。

➡社会実験を行った大道筋区間はカラーコーンで規制し路上駐車がなかったものであり、阻害要因となるものは車道を走行する次世代モビリティの運転に対して課題である。

道路幅員が大きいことで安全性を高く評価されるが、運転者の感覚によっては通過交通により危険と感じる方もいる。

利用シーン 複数選択可



・観光周遊での利用が最も多く、次いで購入による個人利用が多かった。

・そのほか、レンタル利用やアクティビティとしての利用についても回答が多かった。

➡観光周遊や日常のレンタル利用といった回答が多いことから、一時利用・1日利用といったシェアモビリティによる利用も見込める可能性がある。

大道筋社会実験 総評

項目	評価された点	その他
自転車通行実験	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行のない歩道空間は望ましい ・自転車専用レーンは通行しやすかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道の方々からは、自転車の一方通行や車の出入庫は不便という意見も多くみられた
環濠エリアの周遊 ・賑わい創造	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車と歩行者が別で安心できる ・スペースを十分活かしている ・大道筋を中心に周遊促進効果があった 	<ul style="list-style-type: none"> ・“将来像”については、沿道に魅力ある店舗・賑わいを希望する声が多い ・“今後の活用”については、飲食・物販スペースの設置、堺の歴史や文化の体験、憩い・座ることができるスペースの設置を希望する声が多い ・イベント開催の頻度については「月1回」及び「年2～4回」を希望する意見が7割を占めた
次世代モビリティ 乗車体験	<ul style="list-style-type: none"> ・操作性もよく安全に走行できた ・広幅員道路では安全に走行できた 	<ul style="list-style-type: none"> ・“利用シーン”では、観光周遊や日常のレンタル利用が多いことから、一時利用などシェアモビリティによる利用の可能性はある ・車道通行時には、路上駐車など通行阻害要因となる物は、車道を通行する際の課題となる